

日本胎盤臨床医学会

研究要覧

第17号(2015年)

【第18回医学会大会 講演要旨集】

〔招待講演〕第二の文明ルネッサンス——量子医学の時代がやってきた

京大名誉教授、南京経済大名誉教授 岸根 卓郎 — 11 —

〔研究発表1〕胎盤エキス——動物種差と投与方法、効果の差異の考察

上野医院 院長 上野 正樹 — 27 —

〔研究発表2〕プラセンタは赤ちゃんからのプレゼント——プラセンタに対する誤解を解く

響きの杜クリニック 院長 西谷 雅史 — 40 —

〔研究発表3〕胎盤の機能と産生物質——セロトニン

スノーデン株式会社 執行役員 大石 真巳 — 59 —

〔研究発表4〕癌免疫とプラセンタ

統合医療センタークリニックぎのわん 院長 天願 勇 — 72 —

〔研究発表5〕臨床薬理学者から見たラエンネック

Ability of placental medicine Laennec in various areas of medicine,
point of view of pharmacologist

イヴァノヴォ国立医科大学教授 Dr. Olga Alekseevna Gromova — 82 —

〔ランチョンセミナー1〕腸内細菌の乳酸球菌(EF-621K菌)で、腸内免疫を活性化

株式会社タイヤ製薬 営業部営業課長 日置 富士雄 — 92 —

〔ランチョンセミナー2〕プラセンタ化粧品について

株式会社UTP 美容部インストラクター 熊谷 美雪 — 98 —

〔巻末資料〕日本胎盤臨床医学会の入会申込書、申請書、および知的財産権利用許諾契約書 — 105 —

一般財団法人

監修：日本胎盤臨床医学会